

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	-	-	<b>2.6</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 室内騒音レベル			3.0	1.00	-	-	
	2 設備騒音対策			-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能			3.0	1.00	-	-	
	2 界壁遮音性能			-	-	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.7</b>	0.35	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.3</b>	0.50	-	-	
	1 室温			3.0	0.44	-	-	
	2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
	3 外皮性能			3.0	0.21	-	-	
	4 ゾーン別制御性	複数にゾーニングされ、冷房・暖房の選択が可能な空調システム		4.0	0.35	-	-	
	5 温度・湿度制御			-	-	-	-	
	6 個別制御			-	-	-	-	
	7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
	8 監視システム			-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>3.0</b>	0.51	-	-	
	1 昼光率			-	-	-	-	
	2 方位別開口			-	-	-	-	
	3 昼光利用設備			3.0	1.00	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				-	-	-	-	
	1 照明器具のグレア			-	-	-	-	
	2 昼光制御			-	-	-	-	
	3 映り込み対策			-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				-	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.49	-	-	
<b>4 空気環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	-	-	<b>2.7</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	1 化学汚染物質			3.0	1.00	-	-	
	2 アスベスト対策			-	-	-	-	
	3 ダニ・カビ等			-	-	-	-	
	4 レジオネラ対策			-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>2.0</b>	0.30	-	-	
	1 換気量			3.0	0.50	-	-	
	2 自然換気性能			-	-	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	-	-	
	4 給気計画			-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	1 CO <sub>2</sub> の監視			-	-	-	-	
	2 喫煙の制御			3.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.4</b>	0.40	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 広さ・収納性			-	-	-	-	
	2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
	3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
	1 広さ感・景観	売場の天井高: 4.5m		5.0	0.33	-	-	
	2 リフレッシュスペース			1.0	0.33	-	-	
	3 内装計画			3.0	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.5</b>	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計	内外装共、防汚性に配慮した材料を採用、極力段差のない設計		5.0	0.50	-	-	
	2 維持管理用機能の確保	トイレに掃除用流しを設置、事務室に洗濯機置き場を設置		4.0	0.50	-	-	
	3 衛生管理業務			-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.31	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
	1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
	2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>2.8</b>	0.33	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水: 塩ビ(B)、排水: 塩ビ(B)、汚水: 塩ビ(B)、Eは不使用		5.0	0.15	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔			2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備を備え、地下を設けていない	3.4	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光ケーブル、メタルケーブルなど通信手段の多様化を図り、地下がない	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	物:5.4m、工:5.05m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 物:0.07、工:0.04	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	バックアップ設備のためのスペースを計画的に確保	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			1.4	0.17	-	-	1.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.24	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		高効率機器の採用	5.0	0.36	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.24	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	INAXビッツァポーチ、再生骨材の路盤利用、集成材	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	十分な駐輪スペース、駐車スペース、荷捌きスペースを確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている	4.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	